

新しい学年を目前にして、この1年を振り返ろう！

今年度も今日で終わりです。充実した1年を過ごせたでしょうか？2週間の春休みをはさんで新年度を迎えます。2年生は3年生になり、進路を決定する1年となります。高校生活の集大成の時です。進路決定に向けての学習・準備は進んでいますか？また、1年生は2年生になり、中心学年になります。新学期を迎える前にもう一度1年間の学習習慣について振り返ってみましょう。

## 1年生へ **学習習慣を身につけましょう！ 基礎学力をつけましょう！**

### ① **学習習慣を見直し、成績アップを目指しましょう！**

#### 1 学習時間 平日2時間、休日は3時間を目標にしましょう

スタディサポート等のデータによると、しっかり勉強できている人は、平日には2時間以上、休日には3時間以上学習していることがわかります。2年生になると、学習内容もレベルアップしてくるので、毎日確実に時間をかけて学習していくことが大切になってきます。

#### 2 自宅学習 「予習 ⇒ 授業 ⇒ 宿題・復習」の学習サイクルを確立しましょう

予習・復習、小テストの勉強といった日々の授業・学習を大切にしていますか。着実に学力をつけていくためには、宿題や小テストの勉強、予習・復習など授業を中心とした学習をすることが大切です。毎日の授業を確実に理解していくためにも、「予習⇒授業⇒宿題・復習」の学習サイクルを徹底していきましょう。各授業で使用している問題集や参考書を大いに利用して勉強しましょう。卒業生の話によれば学校で使用していた教科書を何度も読み、問題集などを繰り返し解くことによって知識を定着させていったということです。日ごろの積み重ねが基礎学力を作ります。その基礎学力が進路実現につながります。

### ② **春休みの過ごし方 ～1年間の総復習と新年度に向けての準備をしましょう～**

春休みの課題もたくさん出ています。新学期には課題考査もあります。苦手科目の克服などもこの春休みにしましょう。春休みも学校がある日と同じように朝型の生活リズムを崩さず、時間を決めて学習に取り組むことが大切です。4月にいいスタートをきれるように充実した春休みを送ってください。

## 2年生へ **いよいよ受験生です！進路実現のためしっかり勉強しましょう！**

先日（3月18日）に、卒業したばかりの先輩たちが貴重な体験談とみなさんへのアドバイスを話してくれました。みなさんの心に先輩たちの思いは届いたでしょうか。そのお話をまとめると次の11点になると思います。

- ・ 受験勉強は早く始める。  
(この春休みから始めておけばよかったという話がありました。)
- ・ 毎日きちんとしたリズムで生活する。  
(朝学校に来る前に1時間ぐらい勉強をする。夜は夜中まで勉強するのではなく睡眠もしっかりとる。)
- ・ 時間のメリハリをつける。  
(勉強時間と休憩時間をしっかり分ける。ON/OFFの切り替えが大事。モチベーションを維持するためにも目標を立てて達成できたら自分にごほうびをあげるなど)
- ・ まとまった時間勉強する。  
(受験勉強を始めてからは、平日は4時間～7時間、休日は9時間～14時間勉強していた。)
- ・ 時間を効果的に使う。  
(5教科7科目の勉強をすることについては、得意科目は目いっぱい伸ばす、不得意科目は毎日少しずつ積み重ねるというアドバイスもありました。)
- ・ 授業を真剣に受ける、わからないことがあれば質問する。  
(学校の授業で習っていることと入試問題は別と勘違いする人がいますが、授業を真剣に受けて、そこで学んでいくことが大事。)  
(学校の授業で習っていたことが過去問、あるいは実際の入試に出ているという話は入試ではよくあることです。)
- ・ 同じ問題集を繰り返し解く。理解しながら解く。  
(教科書や授業で使用している問題集をうまく利用して勉強していました。単語集の「ターゲット1900」という名前がよく出ていましたが、「Data Base 4500」をもう一度やり直してもいいと思います。)
- ・ 志望校を決めてそれに向けての対策をする。(センター対策も含めて)  
(志望校は1段階レベルを上げて設定する。安易に志望校は下げない。)  
過去問を何年分も解く。早めに一度解いて傾向を知る。
- ・ 勉強できる環境を整える。  
(図書館でこもって勉強していた。塾には行っていたが、友達と学校で勉強する方が向いていた。)
- ・ みんなで支えあって受験に向かう。周りの人に感謝して、結果を残せるように頑張る。
- ・ 最後まであきらめない。

以上のことを忘れずに心にとどめておいてください。

また各教科の勉強の仕方については、6月発行の『進路のしおり(資料編)』に昨日来て下さった先輩たちを含めてたくさんの卒業生が合格体験記としてみなさんにアドバイスしてくれています。楽しみにしてください。

## ① 受験勉強を始めましょう！

すでに受験勉強を始めている人もたくさんいると思います。でもまだ何もしていない人はこの春休みがスタートの時期です。3年生になってからとか部活を引退してからとか、何から勉強していいかわからないなどと言っていないで、とにかく始めることです。先輩たちの反省点の中には、もう少し早くから始めておけばよかったという意見が多く見られます。春休みの課題もたくさん出ています。それをきちんと取り組むことはもちろんですが、模擬試験やスタディサポートなどの問題をもう一度やり直してみるのもいいと思います。3年生になると、毎月1度は模擬試験を受けることになります。模擬試験は校内で行われる試験だけではなく、外部で行われる模試にも積極的に取り組んでみてください。先輩のアドバイスにもありますが、外部の人たちの中で本番さながらに受験する経験は非常に役に立ちます。そして、模擬試験を最大限に利用しましょう。同じ問題を何回も解く。何回解いても間違える問題は自分の弱点です。ノートに書きだして苦手問題ノートを作りましょう。先輩の話の中には、何回覚えようとしてもなかなか覚えられない英単語は単語カードに書きだしていつも持ち歩いたという話もありました。

公務員を目指す人は、各種専門学校で行われている無料の講座や模擬試験を大いに利用しましょう。面接対策をしてくれる学校もあります。また、公務員試験対策用問題集などで過去問対策をしましょう。

就職希望の人は就職講座や就職模試を通して着実に力をつけましょう。最近の就職試験では筆記試験の出来が合否をわけると言われています。基礎学力をしっかり身につけましょう。

## ② オープンキャンパスに参加しましょう。

最近では春休み中にも多くの学校でオープンキャンパスが行われます。先輩たちの中にはオープンキャンパスに行って、模擬授業などを受けたり、施設設備を見たりして、ぜひその学校に行きたいと思ったという人もいますし、逆に自分が思っていたのとは違うと感じた人もいます。夏休みにもオープンキャンパスは行われますが、実際に自分の目で見て来るということは志望校を決めるのには有効な方法の1つだと思います。保護者と行くのもいいと思います。

ただ、注意してほしいこともあります。特に専門学校についてですが、学校側の言うことをすべて鵜呑みにしないということです。よく聞くケースとして「この際にAO入試のエントリーシートを書いて提出してください。正式な合格は8月以降ですが、実質合格と同じように扱います。今なら入学金を〇万円免除します。」というような誘いがあったりするそうです。自分の将来を決める学校選びです。よく比較して慎重に決めましょう。

「入試はまだ先のこと」ではありません。部活を引退してからとか、もう少しあとでと先送りしていると後悔することになります。今できることから始めましょう。進路実現に向けて頑張りましょう！

国公立大学や関関同立のような難関私大にもAO・推薦入試があります。今年は島根大学、昨年は兵庫県立大学、関大環境都市工学部では2年連続合格者を出しています。

国公立大学では、センター試験を使わない入試もあり、筆記試験のほか小論文や面接試験が行われます。

関関同立大学のAO・推薦入試では、ある一定の評定が求められたり、英検等の資格が必要だったりしますが、第1志望校であれば、大いに利用する価値があると思います。しっかり力をつけてトライしてみてください。

### こぼれ話 1

今年のセンター試験の国語の評論問題は、昨年の「総合国語」で3学期に習った文章だったそうです。これはよくあることで、昨年の関大の国語の問題でも国語の授業で習ったばかりの文章で、授業をしっかり受けていた生徒はよく覚えていて解けたそうです。

英語でも問題集で解いた英文が大阪経済大学の問題に出題されたり、今年も摂南大学の問題の英文が近畿大学の問題に使われていて驚いたということがあります。

先輩たちが話していた授業を真剣に受ける、過去問をしっかり解くということにはこういうことも頻繁にあるからなんです。

### こぼれ話 2

先日、卒業生が後期入試の結果を報告に来てくれました。彼は公募推薦で合格校を持っていましたが、さらに上を目指して、一般入試に向けて勉強を続けていました。そして、2月から始まった第1志望校の入試に挑んでいきました。ですが、本当に惜しいところで結果は不合格でした。彼はその時点で自分の入試は終わったと思ったそうです。

しかし、かなり合格に近いところまでできていたので、担任の先生がここまで頑張ったんだから、最後に後期試験を受けてみないかとお話しされ、彼ももう1回頑張ってみようと勉強を再開しました。結果は残念ながら不合格だったんですが、彼は報告とともに「最後まで頑張って勉強してやりきったので、後悔はありません。受験するようにとアドバイスをさせていただいて、本当にありがとうございました。」とさわやかにあいさつしてくれました。今後は公募推薦で受かった大学に進学して、そこでいろいろな資格取得に向けて頑張るそうです。

最後まで頑張ったこの経験はきっと今後の生活に活かされることと思います。